

令和3年度社会福祉法人鶴心会事業報告書

特別養護老人ホームトータス
トータスデイサービスセンター
トータス訪問介護ステーション
デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館
トータス居宅介護支援事業所
市原市地域包括支援センタートータス

1. 全体総括

令和3年度は、新型コロナウイルスの大流行が終息に向かうものと大いに期待していたが、それどころか、前年度以上に猛威を振るった1年であった。とりわけ第5波と第6波は強烈な勢いで拡大し、都市部だけでなく地方においても底知れぬ脅威となり、本市でも全国的な流行に合わせるように、数か所の高齢者施設でクラスターが発生したのである。当方としても、これらの事態を注視し、マニュアルに沿っての予防策と職員への注意喚起に一層努めていたが、令和4年2月に職員1名が陽性者となった。即刻、施設を挙げての緊急事態体制を敷いたが、既にその時点で、当該職員は入所ご利用者と接触しており、ご利用者1名も陽性者となってしまった。日頃より、若しやの場合を想定しながら策定したマニュアル手順の訓練を積み重ねていたため、幸いこれ以上の拡大には至らず、最小限の災禍で収束できたのではないかと考えている。

怖れていた事態が計らずも発生した1年であったが、法人全体の事業運営については、当初の計画に沿っての進捗がほぼ図れたものと思量するところである。しかしながら、資金収支の面においては、長引くコロナ禍の影響を受けてどの部門もご利用者が減少し、収入は前年度同様に落ち込み、経営面での逼迫が徐々に押し寄せつつある状況となっている。因みに各事業所の稼働率は、特養入所92%、ショートステイ36%、トータスデイ41%、げんき館62%であった。コロナ前の令和元年度の稼働率は、特養入所96%、ショートステイ74%、トータスデイ51%、げんき館81%であり、これらの対比からもコロナ禍の影響は顕著である。この事象については、コロナ禍における一過性のものとして受け止めたくはあるが、先々の悪循環となることは避けなければならない。高齢者施設としての性質上、一般企業と同様のウィズコロナ戦略を全面的に展開することも難しく、最善の防止策を講じる中で、早期に稼働率を引き戻す適切な方策を見出すことを旨としなければならない。一方、コロナ禍以外の要因も考えられ、その一つがご利用者の高齢化とそれに伴う重症化である。このことは、施設での看取りが年々に増加している実情としても現れている。数年前から月2～3名の方が施設看取りで亡くなられており、そのような中であって、現場職員は最期までご利用者に寄り添い、ご家族への経過説明等も含め、誠心誠意を持ってできる限りの対応をし、どのご遺族からも感謝の辞をいただいている。

次いで管理運営面については、まずは、法人の屋台骨を支える人材の確保と育成であるが、当年度も新卒者の採用は適わなかった。理由は様々であるが、年々介護職を目指す若者が減少し、その方面の間口も減少気味であり、この業界の将来が憂慮されるところである。その反面、幸いにも現在のところ、中途採用者の入職については、職員紹介制度の効果等もあり、そこそこに良好な状況が続いている。育成については、資格講座への積極的な呼び掛けと受講料補助により多数の受講者が集まり、その後の国家試験結果から、介護福祉士の資格取得者が新たに5名加わり、かなりの成果を得られたのと評価している。他方、ご利用者の生きがいの一つである数々の年間行事が、当年度も開催できなかったことはまことに心残りであり、ご家族との直接面会を丸2年間も叶えさせることができなかったことについても、職員一同の痛恨の思いとなった。

以上については、主に施設内業務が大半である部門の総括、概評ではあるが、一方で、外部での業務を主とする地域包括や居宅介護及び訪問介護はどうであったか。これらの部門も少なからずコロナ禍の影響は受けてはいるが、地域包括と居宅介護については、コロナ前と全く同様とはいかないものの、利用者数やそれに伴う収支面についても、さほど落ち込んではいない状況であった。訪問介護については、職員数が増えない中では利用者数にも限りがあり、収支バランスは相変わらずのマイナスが続いているが、それでも少しずつ、その幅は狭まってきている。コロナ禍における外部との接触は、ご利用者、職員の双方にとってもリスクが高く、敬遠されるところであるが、そのような中であっても、ほぼ従前的

に受け入れられている。このことは、地域的需給バランスによることもあるだろうが、職員の不断の努力による信頼獲得の結果であると考えている。

2. 令和3年度の主な事業

4月	2日	介護職員健康診断
	5、7、9日	バスハイク（特養各フロア）
	12～13日	お花見（げんき館）
	14～15日	全職員対象PCR検査（県高齢者福祉課）
	16日	自家用電気工作物試験
		オンライン内部研修「接遇・マナーについて」講師：伊藤事務長
5月	4～5日	端午の節句（げんき館）
	11日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	12～13日	全職員対象PCR検査（県高齢者福祉課）
	19日	通いの場 レディース会（地域包括）
	25日	西国吉地区 介護予防教室（地域包括）
		特養トータス家族会総会（書面開催）
		オンライン内部研修「特浴の実践について」講師：麻生介護部長
6月	3日	監事監査
	7日	理事会・評議員会（書面評決）
	10、17、24日	新型コロナワクチン1回目接種（特養利用者）
	13日	中高根双葉町会 介護予防教室（地域包括）
	15日	牛久小域NW皆吉青年館 茶話会（地域包括）
	16日	西国吉 レディース会介護予防教室（地域包括）
	16～17日	4～6月誕生会（トータスデイ）
	21～22日	全職員対象PCR検査（県高齢者福祉課）
	22日	理事会・評議員選任・解任委員会
	24、29～30日	新型コロナワクチン1回目接種（職員）
	30日	貯水槽清掃消毒点検 株式会社帝設備
		オンライン内部研修「特浴の実践について②」講師：中尾介護長
	7月	1、8、15日
3、17、24日		介護福祉士実務者研修スクーリング
6日		新型コロナワクチン1回目接種（職員）
7～8日		七夕（げんき館）
9日		夏季賞与
		消防設備点検 有限会社誠和防災
10日		加茂地区銀杏の会 介護予防教室（地域包括）

	12日	創業祭
	13日	すみれ会（地域包括）
	15、20～21、27日	新型コロナワクチン2回目接種（職員）
	16日	鶴舞保育所来設
	25日	牛久地区皆吉団地 茶話会（地域包括）
	26日	鶴舞看護専門学校学生実習（地域包括）
	27日	すみれ会（地域包括）
	29日	加茂地区第2層会議（地域包括）
		オンライン内部研修「地域包括支援センターって」講師：地域包括阿二看護師
8月	2、30日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	7、21日	介護福祉士実務者研修スクーリング
	10日	防災訓練
	16日	浄化槽清掃 株式会社ナンソーテック
	25日	CTG納涼花火大会
	25～26日	夏祭り（げんき館）
		オンライン内部研修「暑い夏に向けてのコロナ予防（げんき館）」講師：清水介護員
9月	4、11、18日	介護福祉士実務者研修スクーリング
	7日	非常用照明バッテリー交換工事 有限会社誠和防災
	15～17、27～30日	施設敷地内樹木伐採 ガーデンライフ・君
	20～21日	7～9月誕生会（トータスデイ）
	20～25日	敬老会（げんき館）
	22日	平三地区 介護予防教室（地域包括）
	26～28日	全職員対象PCR検査（日本財団）
		オンライン内部研修「スキンケアについて」講師：長谷川看護師
10月	5日	利用者健康診断
	7日	鶴舞看護専門学校学生施設見学
	9日	ふまねっと研修（地域包括）
	10日	南総内田地区 認知症サポーター養成講座（地域包括）
	11～12日	運動会（げんき館） 施設敷地内樹木伐採 ガーデンライフ・君
	11～15日	風の丘分校実習（特養）
	18日	運動会
	19～20日	排煙窓修理（特養）
	20日	通いの場 レディース会（地域包括）
	24～26日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	26日	衆議院選挙不在者投票

		西国吉 通いの場（地域包括）
	27日	南総地区第2層会議（地域包括）
	28～29日	鶴舞看護専門学校学生実習
		オンライン内部研修「吐物処理と嘔吐時対応について」講師：感染症委員会 げんき館 尾高副館長
11月	4、11、18日	特養利用者インフルエンザ予防接種
	5日	魚釣り・ボーリングゲーム（特養）
	9日	特養外壁打診調査 新日本技術株式会社 通いの場 レディース会（地域包括）
	12日	職員健康診断
	15～19、27日	西山庭園画廊見学（げんき館）
	16～18、30日	職員インフルエンザ予防接種
	17日	通いの場 レディース会（地域包括）
	20日	更生保護女性会 介護予防研修（地域包括）
	21～23日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	30日	西国吉 通いの場（地域包括） オンライン内部研修「事故・ヒヤリハット報告書の書き方について」講師：リスクマネジメント委員会 佐藤4F介護主任
12月	3日	南総地区社協研修会（地域包括）
	4日	牛久小域NW（牛久ニュータウン）茶話会（地域包括）
	8日	南総地区第2層会議（地域包括）
	10日	冬季賞与 在宅介護教室「背骨調律エクササイズ」（地域包括）
	13日	理事会・評議員会（書面評決）
	15日	通いの場 レディース会（地域包括）
	19～21日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	20～25日	クリスマス会（げんき館）
	21～22日	クリスマス会・10～12月誕生会（トータスデイ）
	24日	特養トータス家族会 クリスマスプレゼント配布
	28日	餅つきの会
	30日	仕事納め式 オンライン内部研修「トータスデイで行っているレクリエーション紹介」講師：遠藤管理者
1月	1日	お屠蘇
	4日	仕事始め式・健康祈願式 高滝神社様
	7日	市民大学 認知症サポート講座（地域包括）

	11日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	13日	消防設備点検 有限会社誠和防災
	16日	白鳥小域NW「認知症の対応と体操」（地域包括）
	16～18日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	17日	市原市地域包括支援センター運営事業者募集プレゼンテーション
	18～19日	初詣 高滝神社（トータスデイ）
	19日	通いの場 レディース会（地域包括）
	22日	牛久小域NW フォローアップ研修（地域包括）
	24日	なのはな館 ふれあいいいきサロン（地域包括）
	27日	新型コロナワクチン3回目接種（特養利用者）
		オンライン内部研修「トータスで使用している栄養補助食品について」講師：給食委員会 厨房佐藤調理師
2月	1、8、15日	新型コロナワクチン3回目接種（職員）
	3日	節分（げんき館）
	3、10日	新型コロナワクチン3回目接種（特養利用者・職員）
	7日	鶴舞看護専門学校学生実習講義（地域包括）
	13～15日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	14日	バレンタインデー（げんき館）
		オンライン内部研修「アンケート結果報告及び考察」講師：身体拘束・高齢者虐待防止委員会 林相談室長
3月	3日	ひな祭り（げんき館）
	8日	加茂地区第2層会議（地域包括）
	8～12、14日	西山庭園画廊見学（げんき館）
	13～15日	全職員対象PCR検査（日本財団）
	15日	通いの場 すみれ会（地域包括） 加茂地区社会福祉協議会会議（地域包括）
	16日	通いの場 レディース会（地域包括）
	18日	通いの場 なかよし健康クラブ（地域包括）
	22日	防災訓練 通いの場 西国吉（地域包括）
	22～23日	ひな祭り・1～3月誕生会（トータスデイ）
	24日	理事会・評議員会（書面評決）
		オンライン内部研修「令和3年度印象に残った研修」講師：研修委員会 柴崙ケアマネ

3. 令和3年度主な職員会議および研修等

1) 会議

- ・CTG連絡会議 月1回
- ・幹部会議 月1回
- ・管理者会議 月1回
- ・各委員会会議 月1回 or 隔月1回
- ・行事会議 随時

2) 内部研修会（オンライン）

研修日	テーマ	発表者・講師
4月	接遇・マナーについて	伊藤事務長
5月	特浴の実践について	麻生介護部長
6月	特浴の実践について②	中尾4F介護長
7月	地域包括支援センターって	地域包括阿二看護師
8月	暑い夏に向けてのコロナ予防（げんき館）	げんき館清水介護員
9月	スキンケアについて	長谷川看護師
10月	吐物処理と嘔吐時対応について	感染症委員会 げんき館尾高副館長
11月	事故・ヒヤリハット報告書の書き方について	リスクマネジメント委員会 佐藤4F介護主任
12月	トータスデイで行っているレクリエーション紹介	遠藤管理者
1月	トータスで使用している栄養補助食品について	給食委員会 厨房佐藤調理師
2月	アンケート結果報告及び考察	身体拘束・高齢者虐待防止委員会 林相談室長
3月	令和3年度印象に残った研修	研修委員会 柴寄ケアマネ

4. 特別養護老人ホームトータス

令和3年度の特養施設運営は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスへの対応に追われた1年であった。施設内クラスターの予防を第一に考え、具体的対策として、職員に対しては、マスク着用、手洗い・手消毒、3密の回避、手の触れる部分の消毒・除菌、換気の徹底、頻回な検温の実施、体調不良時の報告厳格化、出張や外部研修参加の見送り、オンライン内部研修会の導入、在宅勤務の実施等を求めた。ご利用者・ご家族に対しては、新規受入基準の厳格化、面会の制限 (=オンライン面会の実施)、施設全体行事の中止等をお願いさせていただいた。短期入所については、クラスターリスクが非常に高く、前年度と同様、施設へのご利用者の出入りを極力抑制すべく、単発の利用はお断りさせていただき、長期利用の方のみの受け入れとさせていただいた。一方、全職員を対象に毎月のPCR検査を実施し、新型コロナウイルスワクチンについては、特養入所利用者及び全職員を対象に、3回の接種を完了させることができた。

他方、ここ数年、新型コロナウイルスの影響のほかに、入所については、ご利用者の重度化進行による利用回転率の上昇があり、これに市内高齢者施設の整備拡充も相まって、新規ご利用者の獲得に大きな困難が生じている。短期入所についても、入所サービスへの移行や入院等、稼働率を大きく下げる要因を排除しきれず、また、高稼働率維持には、定員の7割程度の長期利用者の確保が必要となるが、長期利用は利用料も高額となるため、ご利用者の安定的な獲得に苦戦を強いられている。

以上の理由から、年間稼働率は低迷を極め、入所については92%、短期入所については36%に留まることとなった。令和4年度については、新型コロナウイルスの動向を見極めながら効果的な感染対策を模索しつつ、稼働率の立て直しを第一の目標に掲げ、早期の通常営業の回復に取り組んでいく。

稼働状況 入所 定員：80名

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30
延利用者数(外泊を含めない)	2164	2296	2295	2364	2319	2178	2277	2242	2222	2224	1963	2156	2225
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	120	124	120	124	116	90	62	60	32	31	28	19	77
要介護3	690	751	779	831	763	720	769	759	793	792	728	845	768
要介護4	660	677	654	603	603	600	609	599	575	620	560	640	617
要介護5	694	744	742	806	837	768	837	824	822	781	647	652	763
入院による延空床数	43	6	21	5	9	31	11	1	42	31	65	61	27
新規入所者数	1	2	3	0	2	0	3	2	2	4	0	3	2
退所者数	2	0	1	2	2	2	1	3	3	4	1	6	2
稼働率	90%	93%	96%	95%	94%	91%	92%	93%	90%	90%	88%	87%	92%

稼働状況 短期入所 定員：20名

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30
延利用者数	212	246	219	217	217	230	285	233	222	207	166	180	220
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1
要介護2	0	0	0	0	0	3	21	24	27	32	51	11	14
要介護3	212	246	189	186	186	182	207	174	155	144	112	98	174
要介護4	0	0	0	0	0	15	15	2	6	4	0	68	9
要介護5	0	0	30	31	31	30	34	33	34	27	3	3	21
新規利用者数	2	2	0	0	0	2	3	1	0	1	0	0	1
利用終了者数	2	1	1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1
稼働率	35%	40%	37%	35%	35%	38%	46%	39%	36%	33%	30%	29%	36%

稼働状況 入所・短期入所合計

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
稼働率	79%	82%	84%	83%	82%	80%	83%	83%	79%	78%	76%	75%	80%

5. トータスデイサービスセンター

引き続き新型コロナウイルスによる影響を受けた1年であった。感染対策は、前年度以上に意識を高め取り組んだ。ご利用者については、マスクの常時着用をお願いし、朝送迎時の検温により発熱が確認された方は、ご利用を控えていただいた。職員についても同様に、出勤前・出勤時・勤務時間内に検温を実施し、風症症状や疑いがあれば出勤を控えるようにした。徹底した感染予防により、例年発生していた風邪症状やインフルエンザ等の施設内感染は全くなく、体調不良時の早期発見につなげることができた。しかしながら、感染予防を強化することによる利用率の低下は避けられず、1日の平均利用人数は16.1/40人、年間平均稼働率は41%と前年とほぼ同様の結果であった。ワクチン接種と緊急事態宣言解除後より新規ご利用者の獲得に尽力し、18名の新規ご利用者がサービス利用につながったが、19名の終了者もあり、結果としてはマイナスとなった。体調不良による休みやサービス途中での終了、ワクチン接種の都合等も重なり、稼働率の回復にまでは至らず、現状維持に留まった。

サービス面においては、特に認知症予防の取り組みに注力した。思考力や記憶力、指先を使用するようなレクリエーションや個別遊戯を充実させ、また、ご利用者との対話を重視し、丁寧な声掛けや傾聴を心掛けた。コロナ禍により行事は縮小・中止の傾向であったが、感染予防を徹底し、できる限りご利用者に楽しんでいただけるよう工夫を施した。ご利用者の誕生日会の開催、お花見や初詣などの季節ごとのイベントに加え、デイルームを手作りの花々で華やかに装飾し、職員が元気に振舞うことにより、常時明るい雰囲気を作り出し、気持ち良く過ごしていただけるよう努めた。

年間平均介護度（前年度比）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
35.2% (▲0.1)	25.8% (▲2.4)	18.4% (+3.9)	16.0% (▲0.2)	4.5% (▲1.2)

月別平均介護度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.5	2.5

年間平均介護度2.3 前年度比較0.1ポイント上昇

月別平均利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17.2	16.3	15.1	15.2	15.4	15.4	16	16.9	17.4	16.3	15.9	15.5

年間平均16.1人（前年度15.8人）

年齢構成

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
1.8%	1.8%	10.7%	16%	21.4%	48.2%

男女構成

	合計
男	29.1%
女	70.9%

稼働状況 定員：40名（つばめ：20名 うぐいす：20名）

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	22	21	22	22	22	22	21	22	22	19	20	23	22
延利用者数	378	342	332	335	339	339	336	371	400	342	318	357	349
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	146	136	139	126	126	131	115	114	123	100	98	92	121
要介護2	117	92	92	106	116	88	92	99	96	52	58	91	92
要介護3	53	48	42	42	52	61	70	68	78	99	90	112	68
要介護4	61	65	58	60	44	36	39	63	72	64	47	29	53
要介護5	1	1	1	1	1	23	20	27	31	27	25	33	16
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録者数	45	45	44	43	46	47	46	47	48	49	47	47	46
新規利用者数	0	1	0	0	3	3	4	3	2	1	0	1	2
終了者数	1	1	1	0	2	5	2	1	0	2	1	3	2
稼働率	43%	41%	38%	38%	39%	38%	40%	42%	46%	45%	40%	39%	41%

6. トータス訪問介護ステーション

1) 事業内容

①指定訪問介護（指定介護予防訪問介護相当サービス）事業

身体介護・生活援助・相談・助言

②地域との連携

関係市町村、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他居宅サービス事業所等との連携

③サービス提供

ご利用者の希望、困難となった事（身体的、日常生活に必要な家事等）に関する支援と介助を訪問介護計画に沿ったサービスの実施

④訪問ミーティング

ご利用者に関する情報と訪問介護計画に沿ったサービスについての共通理解等を目的に会議を月1回開催し申し送りを確実に実施

2) 総括

各自が訪問介護員としての自覚、知識技術の向上を心がけ、ご利用者の状況や状態、相談や訴え等に対し正確に理解、把握、観察、対応ができるよう取り組んだ。ご利用者に変化が見られた場合は直ちに関係機関等に報告、連絡、相談を実施して連携を図り最善の対応ができるよう努めた。

新型コロナウイルス拡大防止の為の出勤制限（職員や家族の体調不良や子供の学級閉鎖等）による人手不足もあり稼働率の向上は難しい状況であった。その状況下で可能な限りの新規受入れをして延訪問回数100を下回らないことを目標に努めた。ご利用者によっては時間変更、曜日変更、訪問回数の追加等の要望があったが、それらに対し柔軟に対応することで今までと変わりなく、ご利用者・ご家族との信頼関係を構築することができた。また、現体制では対応困難な時間帯や認知症状の進行が見受けられるご利用者の相談や利用が増えてきており、対応の可否を慎重に検討し可能な限り受入れするよう努めた。やむを得ず対応が困難な場合は丁寧に事情を説明し他事業所へと繋げることにより、ケアマネジャーやご家族との信頼関係を崩すことなく対応することができた。

サービス面において、提供の際には常に傾聴を心がけ不安を軽減し、不穏な感情を和らげるように努め、ご利用者の心身の状態に合わせて丁寧に対応した。また、職員間で課題を共有し、臨機応変に対応できるように利用前調査の際にはヘルパー同行を実施するように取り組んだ。カンファレンスは決められた曜日に全員で朝の時間帯に短時間で実施。個別にも各自の時間に合わせて実施し、各自の意見や対応を再確認することができた。その中で改善事項があった場合には指導及び研修を行い、それらが実際のサービス提供時に生かされているかを様子観察した後に、本人と再度確認することによってサービスの改善と向上に繋がった。

以上を取り組んだことによりコロナ禍の不安定な状況でも信頼関係を維持することができ年度目標は概ね達成できたと評価する。今後も、ご利用者一人一人の生活環境や状態に合わせて関係機関との連携を密に行い、小規模ではあるが故の長所を活かした安定した丁寧なサービスを実施していく。

稼働状況

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
延訪問回数	159	168	164	172	174	184	176	174	171	126	112	171	163	
登録者数	25	25	26	27	26	25	26	25	25	21	21	22	25	
内新規契約者	2	2	0	3	0	1	1	2	1	0	1	1	1	
内終了者	1	2	2	0	2	2	0	3	1	4	1	0	2	
内 訳	要支援 1	14	12	13	14	13	14	12	4	5	4	4	5	10
	要支援 2	24	25	24	25	28	32	32	29	24	19	19	27	26
	要介護 1	83	93	87	81	89	94	89	71	83	61	49	57	78
	要介護 2	4	4	5	15	9	5	16	34	32	25	24	31	17
	要介護 3	29	30	28	30	29	30	27	30	27	17	12	41	28
	要介護 4	5	4	7	7	6	9	0	6	0	0	4	10	5
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7. デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館

新型コロナウイルス感染症対策として、ご利用者へのワクチン接種協力依頼、ご家族を含めた体調確認、マスクの着用、小まめな手消毒、館内消毒、昼食のバイキング形式から配膳形式での実施を継続して行った。また、新規ご利用者に対して、利用開始の2週間前から体調を記録していただき、利用開始から一週間、昼食・入浴などのマスクを外す際に他ご利用者との接触を減らすなど、集団感染予防に努めた。

サービス内容では新型コロナウイルス感染防止のため、外食会や喫茶会等の外出行事の実施が出来ない中で、毎月新しいレクリエーション（体を使うもの、頭を使うもの）を追加し、時間を持て余してしまう時間帯に、短時間で行うレクリエーションを実施するなど意識してマンネリ化を防止し、楽しくご利用いただけるように取り組んだ。

令和3年度の年間平均稼働率は、令和2年度同様に新型コロナウイルスによる新規受入基準の厳格化、感染予防による利用自粛などにより、62%と低迷した。

月	行事实績	ボランティア実績	事務業務実績
4月	お花見（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
5月	端午の節句 （ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
6月		※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
7月	七夕（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
8月	夏祭り	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
9月	敬老会	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
10月	運動会 ハロウィン	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
11月	紅葉（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
12月	クリスマス会	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
1月	初詣	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
2月	節分（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
3月	ひな祭	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務

稼働状況 定員：72名

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	26
延利用者数	1179	1210	1163	1178	1118	1192	1152	1203	1160	1036	962	1170	1144
要支援1	206	193	189	199	200	214	205	202	198	178	155	183	194
要支援2	288	289	273	274	251	251	250	245	237	204	212	265	253
要介護1	501	518	479	459	435	472	465	474	441	412	399	463	460
要介護2	113	129	144	161	160	171	166	208	199	156	127	150	157
要介護3	58	75	75	80	69	71	55	61	73	75	58	96	71
要介護4	5	0	0	0	0	8	7	9	8	7	8	8	5
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	502	488	465	478	454	470	459	451	439	386	370	453	451
その他	8	6	3	5	3	5	4	4	4	4	3	5	5
登録者数	215	213	212	214	211	209	206	210	212	212	210	208	211
新規利用者数	3	3	2	3	2	4	2	5	5	6	3	1	3
終了者数	5	2	1	1	7	4	5	1	4	6	3	3	4
稼働率	63%	65%	62%	61%	60%	64%	62%	64%	62%	60%	56%	60%	62%

8. トータス居宅介護支援事業所

1) 総括

疾病に対する予防的支援の立場からご利用者に関わり、ご利用者が住み慣れた地域でできるだけ長く過ごせるよう、医療職（医師や看護師）との連携を図りながら、ご利用者の状態に合わせた支援を行うことができた。新型コロナウイルス感染症対策下におけるご利用者やご家族の心身の状況やご負担を伺いながら、健康管理にも十分留意した。

新型コロナウイルスの影響により、オンライン研修が増加したため、積極的な参加を心がけた。参加した職員が研修内容を居宅会議にて報告し、全職員の知識向上に努めた。また、認知症研修への参加により、改善可能な認知機能障害の検討やせん妄状態の原因となる薬剤等について学ぶことができ、適切な支援につなげることができた。

ここ最近の新規相談においては、認知症と末期癌の方が増加しており、ご利用者だけでなく、ご家族への支援も必要なケースが多くあり、今後ご利用者やご家族の思いに寄り添えるよう、支援者としての知識・技術の向上に努めていく。

2) 職員体制

- (1) 管理者 1名 兼務（主任介護支援専門員）
 (2) 介護支援専門員 5名 専任5名（内、主任介護支援専門員3名）兼務1名
 合計 6名

3) 契約状況一覧

令和3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
要介護	月初契約数	182	174	171	166	162	158	154	155	159	163	161	160	164	
	新規契約数	1	3	1	3	8	4	3	7	5	5	6	6	4	
	契約終了数	9	6	6	7	12	8	2	3	1	7	7	4	6	
	月末契約数	174	171	166	162	158	154	155	159	163	161	160	162	162	
	請求数	170	162	159	150	149	157	151	154	158	158	153	157	157	
	内訳	要介護1	62	60	56	51	49	53	52	49	48	51	48	47	52
		要介護2	37	36	36	38	40	41	39	41	46	43	47	48	41
		要介護3	45	42	41	35	39	39	40	40	41	42	40	41	40
		要介護4	14	14	17	17	13	16	13	16	14	14	11	13	14
		要介護5	12	10	9	9	8	8	7	8	9	8	7	8	9
要支援	月初契約数	17	17	13	15	14	14	17	16	16	17	17	19	16	
	新規契約数	0	3	2	0	2	3	0	1	2	0	3	1	1	
	契約終了数	0	7	0	1	2	0	1	1	1	0	1	0	1	
	月末契約数	17	13	15	14	14	17	16	16	17	17	19	20	16	
	請求数	17	13	15	13	14	15	18	15	15	16	18	19	16	
	内訳	要支援1	8	4	5	5	5	6	6	5	7	6	9	8	6
		要支援2	9	9	10	8	9	9	12	10	8	10	9	11	10

※請求数（月遅れ請求含む）

4) 居宅会議開催状況

月	日	会議内容
4	1	令和3年度の介護保険改正について
	9	事例検討 認知症が進行しているが、家族が理解できない方の支援について
	14	事例検討 鬱の妻と退院したばかりの夫の今後の支援について
	22	研修報告 認知症見立て塾
	29	・介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目について ・居宅介護支援等に係る書類・事務手続きや業務負担等の取扱いについて
5	7	事例検討 独居で不安はあるが、サービス利用は消極的な方の支援について
	13	事例検討 通所利用のキャンセルが多く、定期的な利用ができない方の支援について
	19	・居宅の業務内容について ・施設利用について
	27	研修報告 認知症見立て塾 アルコール関連障害のある人の見立て
6	3	4/9に事例検討した方のその後の生活等経過報告
	11	事例検討 通所の介護職員と気が合わず、ストレスから体調を崩した利用者の支援について
	17	事例検討 突然の下半身麻痺に戸惑いながら、歩きたいとの思いを強くされている方の支援について
	24	研修報告 認知症見立て塾
7	2	福祉用具商品紹介 全自動排泄処理ロボット、安否確認システム等
	6	事例検討 96歳の頑固な男性、在宅生活を希望、家族は施設入所を希望し、お互いの意向が合わない家族の支援の仕方について
	13	住宅型有料老人ホーム なかよしホームについて
	22	研修報告 認知症見立て塾
	29	事例検討 ALSの方の支援について
8	2	他法人との事例検討 介護疲れの夫の支援について
	21	他法人との事例検討 精神疾患、知的障害の家族を含めた支援について
	20	研修報告 傾聴 専門職として「聴く」という事
	26	研修報告 認知症見立て塾 薬物療法について
	30	事例検討 家族は施設入所を勧めているが、本人は意に介さない方の対応について
9	9	研修報告 認知症見立て塾 認知症原因疾患の検討
	17	事例検討 認知機能が低い利用者の生活支援について
	23	事例検討 在宅では独居のため皮膚疾患の処置が限界、入所を提案も拒否が続く
	27	事例検討 介護保険や介護サービスについての理解が難しい家族の支援
10	5	聞こえる勉強会「補聴器について」
	13	事例検討 外出することに積極的でない方の支援について
	21	研修報告 認知症見立て塾
	25	介護報酬改定の具体的対応について
11	4	研修報告 在宅ケアマネ向けリスクマネジメント

	1 1	前腕支持歩行車について
	1 8	研修報告 認知症研修会
	2 5	老人保健施設のショートステイと通所の利用について
	2 9	配食サービスについて
1 2	7	研修報告 ケアマネジャーが知っておくべき認知症と薬の大切な話
	1 4	事例検討 統合失調症による多飲の為、低ナトリウムで入退院を繰り返してる方の対応について
	2 1	事例検討 日中独居、物忘れが進み、家族は人との関わりを希望しているが、本人は頑なに拒否している方の援助について
	2 8	事例報告 独居で認知症が進行してきたが、訪問介護と通所介護の連携により生活が問題なく行えている成功事例
1	1 2	研修報告 ターミナルの実践的理解 その1 ～「最期までその人らしく生きる」を支えるために～
	2 0	研修報告 認知症見立て塾
	2 5	事例検討 他法人との共同事例
2	3	事例検討 知的障害があり独居生活が厳しい入所中の方の退所後の生活支援について
	1 0	事例検討 高齢者の夫の認知症の妻の介護について
	1 7	事例検討 膀胱留置カテーテルの方の訪問看護の利用について
	2 1	研修報告 ターミナルの実践的理解 その2 ～「最期までその人らしく生きる」を支えるために～
3	4	研修報告 令和3年度ケアマネ交流会報告
	1 1	事例検討 独居、下肢筋力低下により転倒があるが、外出もリハビリも希望もない方の支援について
	1 6	事例検討 知的障害の方の生活の意欲向上を図る方法
	2 5	事例検討 訪問看護を利用しても褥瘡悪化、施設入所を申し込んでいるがまだ決まらない、他に方法はないか

5) 研修参加状況

月	日	会議内容
4	2 2	認知症見立て塾
5	2 7	認知症見立て塾
6	2 4	認知症見立て塾
7	2 2	認知症見立て塾
8	4	傾聴 専門職として「聴く」ということ
8	2 5	在宅ケアマネ向けリスクマネジメント
8	2 6	認知症見立て塾
9	9	認知症見立て塾
1 0	1 4	ケアマネジャーが知っておくべき認知症と薬の大切な話

	1 6	ターミナルケアの実践的理解「その人らしく生ききる」を支える
	2 1	認知症見立て塾
	2 6	令和3年度介護支援専門員研修会
1 1	5	高次脳機能障害の診断書
	1 0	令和3年度第1回ケアマネジャー連絡会定例会
	1 6	認知症研修会
	2 5	床ずれに強くなろう
2	1 4	自立支援型地域ケア会議
	2 5	令和3年度ケアマネ交流会
3	7	令和3年度第2回『今さら聞けないケアマネ業務について』
	2 1	生活の場で行う在宅褥瘡ケア 在宅褥瘡におけるケアマネジャーの役割

9. 市原市地域包括支援センタートータス

1) 総括

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していくにあたり、新型コロナウイルスの影響は、私たち地域包括支援センター職員のありとあらゆる活動を大きく阻害した。けれども、感染の落ち着きを見極めながら、通いの場所や老人会等に参加させていただき、介護予防に資する知識や技術の提供に努め、年度後半には、感染対策を徹底した上で、月8件ほどのペースで地域の集まりに出席することができた。

新規相談の件数については、年度後半は前半との比較で100件程度増加しており、解決すべき課題が複合する困難なケースも多くあり、1件当たりの支援回数、支援時間も長くなっている。それでもなお、安心して生活できるよう、相談者に寄り添って本人のエンパワーメントを引出し、様々な社会資源（成年後見制度等）を活用しながら支援を行っている。密な状況を避けるため、しばらくは地域ケア会議の開催は見送っているが、新型コロナウイルスの動向に注視し、市原市の方針にも足並みを揃えながら、地域社会資源をより活用できるよう努めている。

令和4年度より、地域包括支援センターに世代や分野を問わない福祉の総合相談窓口として「地区福祉総合相談センター」が併設される。これまで以上に、地域社会資源との関係性を強化し、子ども、障がい者、高齢者等の枠組みを超えた相談援助の知識と技術を高めていく。

2) 介護予防ケアマネジメント業務

①介護予防ケアプラン作成及び介護予防ケアマネジメント件数(新規)

区分	センターで実施した件数	委託した件数	合計
介護予防ケアプラン	399	342	741
介護予防ケアマネジメント	233	204	437
(うち事業対象者)	1	0	1
合計	632	546	1178

②介護予防支援サービス利用等契約締結件数(当月新規)

区 分	事業対象者	要支援1	要支援2	合 計
センターで実施した件数	0	3	3	6
委託した件数	0	46	52	98
合 計	0	49	55	104

③給付管理件数

区 分	総合事業			予防給付			総 計
	新 規	継 続	合 計	新 規	継 続	合 計	
センターで実施した件数	4	150	154	3	262	265	419
委託した件数	37	877	914	56	1470	1526	2440
合 計	41	1027	1068	59	1732	1791	2859

④介護予防支援サービス利用等契約が終了した者の内訳

区 分	自 立	死 亡	転 出	要介護	その他	合 計
内 訳	0	3	2	67	7	79

3) 総合相談支援、権利擁護業務

①相談受案件数（当該年度における新規の実件数）

区 分		合計
総合相談支援		547
権利擁護	成年後見制度に関すること	1
	高齢者虐待に関すること	8
	消費者被害の防止	0
	困難事例への対応	5
	その他（DV防止・対応）	3
合 計		564

②相談内容と件数（延べ件数）

区 分		合計（延件数）
総合相談支援	介護保険制度や認定に関すること	1096
	介護サービスの利用や介護方法等に関すること	1726
	入院・入所・退院・退所に関すること	715
	医療に関すること	317
	認知症に関すること	289
	独居高齢者の安否に関すること	398
	経済面や住居に関すること	841
	家族関係に関すること	111
	住宅改修に関すること	52
	介護保険外のサービスに関すること	332
	市のサービス調査（実態把握）	46
	その他（※具体的内容を下欄に記入する）	89
権利擁護	成年後見制度に関すること	143
	高齢者虐待に関すること	69
	消費者被害の防止	0
	困難事例への対応	84
	その他（DV防止・対応）	21
合 計		6329

③窓口時間外の緊急対応件数

区分		徘徊	虐待	救急	安否確認	その他	合計
対応件数	実件数	0	1	2	0	1	4
	延件数	0	2	2	0	1	5

④成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用に至った件数

区分	成年後見制度	日常生活自立支援事業
件数	5	0

⑤困難事例対応状況

区分	新規	継続	合計
報告件数	10	14	24

・相談内容

認知症	経済的困窮	精神疾患	介入拒否	入退院（所）	生活支援	家族問題等	サービス調整	受診支援	その他
-----	-------	------	------	--------	------	-------	--------	------	-----

1	5	1	1	2	1	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・相談経路

民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	市関係者	医療機関	本人	子・子の配偶者	配偶者	親族	県関係機関	その他
0	2	0	1	4	2	0	0	0	0	1

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①介護支援専門員に対する個別支援の実施状況

区分	実施件数
ケアマネジメント支援	183
困難事例への後方支援	316
介護支援専門員の質の向上のための支援（研修・会議など）	0
担当者会議開催支援	0
介護支援専門員同士のネットワーク構築支援	0
医療機関を含めた関係機関との連携体制構築支援	7
社会資源の紹介・制度説明	14
居宅サービス事業者等への研修等の働きかけ	1
その他	0
合計	521

②介護支援専門員交流会、研修会等の開催

日にち	名称	場所	参加人数
2022/2/25	ケアマネ交流会	オンライン	12

5) その他

①地域ケア会議の実施状況

区分	日にち
個別	—
圏域	—

②会議・研修等参加及び開催状況

日にち	名称
2021/4/20	市原市地域包括連絡会議 オンライン
2021/4/20	加茂地区民生委員会
2021/4/22	市原市認知症対策連絡協議会 オンライン
2021/4/23	市原市リハビリ広域支援センター ちーき会 オンライン
2021/5/18	市内包括連絡会議
2021/5/18	加茂地区民児協
2021/5/18	南総地区民児協
2021/5/21	広域リハセンター主催 ちーき会
2021/6/8	加茂地区民児協
2021/6/15	市原市内包括連絡会議 (Zoom)
2021/6/18	在宅医療・介護連携 ACP普及部会
2021/6/25	ちーき会 (Zoom)
2021/7/20	市内包括連絡会議 (Zoom)
2021/7/21	市原市地域包括運営協議会
2021/7/29	市原市認知症対策連絡協議会 (Zoom)
2021/8/4	高次脳機能障害生活版ジョブコーチ研修 (オンライン)

2021/8/7	高次脳機能障害生活版ジョブコーチ研修（オンライン）
2021/8/17	市内包括連絡会議
2021/8/20	高次脳機能障害地域支援者向け連続講座（オンライン）
2021/8/26	広域リハ主催 ちーき会
2021/8/30	高齢者虐待対応初認者研修（オンライン）
2021/9/1	フレイルミーティング（Zoom）
2021/9/10	キャラバンメイト（中学生用）研修（Zoom）
2021/9/17	広域リハビリセンター主催 ちーき会
2021/9/21	市内包括連絡会議
2021/10/5	キャラバンメイトスキルアップ研修
2021/10/19	市内包括連絡会議
2021/11/9	加茂地区民児協
2021/11/10	市原市ケアマネ連絡会「虐待対応」研修
2021/11/16	市内包括連絡会議
2021/11/25	市内包括主任CM会議
2021/12/2	〇〇〇〇様支援会議
2021/12/6～11	地域包括初任者研修（Zoom）
2021/12/14	加茂地区民生委員会
2021/12/21	市内包括連絡会議
2022/1/11	加茂地区民児協
2022/1/17	R4年度地域包括プロポーザル
2022/1/18	市内包括連絡会議
2022/1/21	広域リハビリセンター主催 ちーき会（Zoom）
2022/1/27	市原市認知症対策連絡協議会（Zoom）
2022/2/2	介護職のための感染症理解と対策（Zoom）
2022/2/3	キャラバンメイト研修（Zoom）
2022/2/14	令和3年度自立支援型地域ケア会議（Zoom）
2022/2/15	市内包括連絡会議
2022/2/15	多分野連携研修（Zoom）
2022/2/17	千葉県高齢者虐待防止対策研修（Zoom）
2022/2/17	企業向け若年性認知症支援セミナー（Zoom）
2022/3/7	市原市ケアマネジャー連絡会
2022/3/17	市内包括連絡会議
2022/3/23	市原市地域包括支援センター運営協議会
2022/3/24	在宅医療介護連携ACP研修
2022/3/25	令和4年度地域包括支援センター業務説明会
2022/3/25	ちーき会
2022/3/28	在宅医療介護連携推進会議